

## H30春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

### 早月加積地区

提言等の項目	H30春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①歩道の設置 (1)	栗山・大窪・大掛方面から東部小学校への通学路(市道大窪四ツ屋線)において、小学校から国道8号の高架下までは歩道が確保されているが、それより山側は歩道もなく、道路も狭い。現在、四ツ屋町内会において、交通量等を調査しているが、道路脇には高低差のある田んぼや用水があり危険なので、歩道を設置してほしい。	市道大窪四ツ屋線の歩道設置については、毎年四ツ屋町内会から要望をいただいております。平成25年度には、車道に白線を引き、子どもたちの歩くスペースを確保したところです。今後は、四ツ屋町内会が調査された交通量等のデータ等を参考に、優先順位を決めて対応したいと考えています。
②歩道の設置 (2)	市道柳原中村線において、追分の交差点から早月加積駅へ向かう道路(県道栗山追分線)より魚津側には歩道がない。通学路ではないが、ゴミステーションの利用などで、歩行者が多く、危険なので、歩道を設置してほしい。	市道柳原中村線について、県道栗山追分線との交差点までは、家一軒分を残し、歩道が整備されている状態です。歩道の整備については、交通量等を総合的に考慮して、優先順位を決めて対応したいと考えています。
③信号機の設置	笠木地内(県道富山魚津線と市道笠木海岸2号線との交差点)に信号機を設置してほしい。	ご提言の交差点には、以前より、笠木町内会から押しボタン信号機の要望をいただいております。平成25年度より、管轄である県や警察署に要望しているところです。今後も、粘り強く要望を続けていきたいと思っております。
④学校給食	学校給食の地場産野菜の受け入れについて、これまでの状況は。また、今後、児童数の減少が見込まれる中、地場産野菜の受け入れをどのように考えているのか。	平成29年度において、学校給食には50.9%の地場産野菜(約100t)を取り入れており、野菜の形状にこだわらずお受けしています。今後、児童数は減少していくものと思われませんが、学校給食への地場産野菜の受け入れは、これまで以上に続けていきたいと考えています。
⑤歩道の設置 (3)	四ツ屋東の交差点において、毎日見守り隊の方が子供たちの横断を見守っている。見守り隊から具体的な危険箇所等を報告いただき、改めて市道大窪四ツ屋線の歩道設置について要望したいと考えている。事故が起きてからでは遅いので、早急に対応をお願いしたい。	児童数や交通量等のデータを参考に、優先順位を決めて対応したいと考えています。

## H30春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

### 早月加積地区

提言等の項目	H30春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑥遊具	中村アメニティセンター横のちびっこ広場の遊具について、老朽化のため撤去予定とのことだが、撤去した後、新たに遊具を設置する予定はあるのか。	現地を確認し、遊具を撤去できないか町内会に相談したところ、「そのままにしておいてほしい」との要望がありました。今年度、遊具の保守点検調査を行った結果、鉄棒等は錆びてはいますが、構造上の問題はないとのことでしたので、しばらくはそのまま設置しておきたいと考えています。今後は、遊具新設ができるよう努力します。
⑦子どもたちの怪我	スポーツにおいて、頑張りすぎて怪我をしてしまう子どもが多いので、気を付けて頑張ってもらいたいと思う。	滑川市には、24団体10種目のスポーツ少年団があり、それぞれで子どもたちが活動しています。市としては、子どもたちだけではなく、体育協会と連携しながら、指導者向けの研修会や食育に取り組み、指導力向上に取り組んでいます。やる気のある子どもたちが、怪我で競技ができなくならないように、今後も取り組んでいきたいと思えます。
⑧消防団の駐車場	アルプス農業協同組合早月加積支店の跡地を、消防団の駐車場にすると聞いたが、どのような状況か。	旧アルプス農協早月加積支店については、これまでも早月分団の分団員が火災の際の駐車場として利用してきました。建物の取り壊しにあたり、アルプス農協より、跡地を分団の駐車場として購入してもらえないかと提案があり、約3分の1の敷地を駐車場として購入する予定としています。現在は、現地を測量中であり、駐車場として購入する範囲を確認している段階です。契約が終わり次第、工事に着手する予定です。